

【2022年秋季大会についてのお知らせ】

新型コロナウイルス感染の「第7波」の中、9月10日(土)に明治大学で開催予定の秋季大会の開催方式についても、執行部・理事会・主催校の間で協議を重ねてまいりました。その結果、大会は基本的にオンライン開催としつつも、総会とシンポジウムのみ有観客のハイフレックス方式(現地開催+ZOOM配信)で行うことになりました。難しい状況の下、さまざまな制約の中で工夫の可能性を探った結果、このような変則的な開催方式となりました。ご不便をおかけしますが、ご理解いただければ幸いです。

オンラインでの大会への参加方法、およびZoom使用の際のマニュアルや注意事項などについては、大会の一週間前までにあらためてご連絡いたします。また、当日のアクセスのためのZoomミーティングのURL等は、会員外への漏洩を防ぐため、大会の数日前にメール(メール未登録者には郵便)でお伝えします。連絡を確実にを行うため、メールアドレスを事務局に伝えていない方、または変更のある方は、事務局(secretariat@sfjp-web.net)までご連絡下さい。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【プログラム (HPにも掲載します)】

- 【日時】 2022年9月10日(土)
【開催方式】 オンライン開催/シンポジウムのみハイフレックス方式(現地開催+オンラインで同時配信)
【場所】 明治大学・駿河台キャンパス(シンポジウムのみ・他はオンライン)

【タイムスケジュール】

《一般研究発表》 9時20分-12時30分 オンライン開催

*発表時間帯

- ① 9時20分 -10時00分
- ② 10時10分 -10時50分
- ③ 11時00分 -11時40分
- ④ 11時50分 -12時30分

第一部会 (司会: ②③大西 克智/④村瀬 鋼)

- ②山田 弘明 「バイエ『デカルトの生涯』から見えて来るもの」
- ③立花 達也 「否定性のない有限な力—スピノザの倫理学を支える「自然の一部」論について」
- ④長坂 祥悟 「ピラン哲学において「他者」はいかにして現れるか—メーヌ・ド・ピランの他者論の試み」

第二部会 (司会: ①②岩野 卓司/③④佐々木 雄大)

- ①押見 まり 「主体性と超越の相互的關係—実存の哲学から人間的実在の哲学へ」
- ②畑田 晃佑 「前期サルトルの道徳論における偶然性について」

③梁 安吉子「他者の痛みを想起すること——ジョルジュ・バタイユの「失われた連続性」

④田中 優一「ジャンケレヴィッチにおける道徳の逆説性」

第三部会 (司会：①②佐藤 朋子／③④澤田 哲生)

①信友 建志「ラカン『四つのディスクール』の生成過程の検討——「資本主義のディスクール」解釈への予備考察」

②上野 隆弘「ダゴニエの「自然」概念」

③三宅 萌「後期メルロ＝ポンティにおける「野生」の問題」

④常深 新平「メルロ＝ポンティにおける絵画の Stiftung とその起源——デリダとの比較を手がかりに」

第四部会 (司会：①②佐藤 香織／③④郷原 佳以)

①蛭子 良風「コギトと他者——フッサール／レヴィナスにおける客観性の条件」

②若林 和哉「レヴィナス哲学の出発点——「現存在か J か」をめぐって」

③中谷 碩岐「『グラマトロジーについて』におけるエピステーメー概念について」

④森脇 透青「哲学的大学の使命と「翻訳者の義務」——デリダにおけるカントとシェリングの哲学体系の差異」

第五部会 (司会：①②小林 卓也／③④鈴木 泉)

①佐々木 晃也「ドゥルーズの思考学における「知ること」の問題」

②得能 想平「ドゥルーズにおける「意味」の意味について」

③濱中 健太「ドゥルーズ『差異と反復』における「強制」について」

④松本 潤一郎「「対象」概念を軸としたバディウによるカント読解」

《総会》 13時30分－14時30分 オンライン／明治大学・リバティータワー9階1093教室

《シンポジウム》 14時45分－18時30分 オンライン／明治大学・リバティータワー9階1093教室

・テーマ：「マルセル・ブルーストと哲学(者たち)——没後100年を記念して」

・司会： 澤田 直 (立教大学)

・プログラム：

14時45分-15時 「開会にあたって」 吉川 一義 (京都大学名誉教授、日本ブルースト研究会会長)

15時-15時15分 「趣旨説明」 澤田 直

15時15分-45分 「ブルーストにおける〈真の生 la vraie vie〉再考——メルロ＝ポンティとヌスバウムの所説から」 湯沢 英彦 (明治学院大学)

15時45分 「不朽の生成——ブルーストと「感覚」の論理」 黒木 秀房 (立教大学)

16時15分 「ブルーストに触発される哲学——イメージと知覚の現象学」 澤田 直

16時45分-17時 休憩

17時 -18時30分 討議

・後援： 日本ブルースト研究会

*ご注意

1. 午前中から明治大学の会場に来られる方は、総会・シンポジウム会場を開放していますので、そこからご自身の端末とイヤホンで、オンライン開催の一般研究発表にアクセスしていただけます(WIFI使用可)。ただし、一般研究発表の発表者用の教室はご用意できませんので、ご了承ください。
2. ハイフレックス開催の会場設営準備の関係上、昼休み時間が通常よりも短くなっていますので、ご注意ください。
3. 懇親会の開催は予定しておりません。

☆関連イベントのご案内

日仏哲学会提案型ワークショップ：「ミシェル・アンリ再訪～生誕百年と『ミシェル・アンリ読本』公刊を機会に」

- ・日時：2022年9月9日（金）15時30分～18時30分
- ・開催方式：オンライン（日仏哲学会と日本ミシェル・アンリ哲学会の会員以外は要参加申込み）
- ・提題者：服部 敬弘（同志社大学）、古荘 匡義（龍谷大学）、本間 義啓（釧路公立大学）
- ・コメンテーター：長坂 真澄（早稲田大学）、平岡 紘（流通経済大学）
- ・司会：米虫 正巳（関西学院大学）
- ・プログラム

15時30分 - 15時35分	司会者による趣旨説明
15時35分 - 16時5分	服部 敬弘 「表象から生の様態へ—アンリのカント解釈をめぐって」
16時5分 - 16時35分	古荘 匡義 「「キリスト教の哲学」の宗教性」
16時35分 - 17時5分	本間 義啓 「自己経験としての誕生：アンリにおける時間の問題」
17時5分 - 17時20分	休憩
17時20分 - 17時40分	コメント1 長坂 真澄
17時40分 - 18時	コメント2 平岡 紘
18時 - 18時15分	提題者のレスポンス
18時15分 - 18時30分	会場との質疑

- ・主催：日本ミシェル・アンリ哲学会

*日仏哲学会会員の方には、大会のURLをお知らせするのと同じメールで、本ワークショップのZoomのリンク先をお伝えします。会員以外の方をお誘いの際には、お手数ですが、以下のリンク先より登録いただくようお願いください。

<https://docs.google.com/forms/d/1tWK1rWCJIAbbZadS6XEixTtwgiTJ5NLjM3YjbYB1mFMo>

国際シンポジウム「ジャン＝リュック・ナンシーの哲学——共同性、意味、世界」

- ・日時：2022年9月17日（土）13時～18時、18日（日）10時～18時
- ・報告者：合田正人（明治大学）、郷原佳以（東京大学）、市川崇（慶應義塾大学）、伊藤潤一郎（新潟県立大学）、柿並良佑（山形大学）、小林康夫（東京大学名誉教授）、ジェローム・レーブル（哲学者）、ボヤン・マンチュフ（新ブルガリア大学）、松葉祥一（同志社大学）、ジャン＝クレ・マルタン（哲学者）、西谷修（東京外国語大学名誉教授）、西山雄二（東京都立大学）、ジャコブ・ロゴザンスキー（ストラスブール大学）、澤田直（立教大学）、渡名喜庸哲（立教大学）、鶴飼哲（一橋大学名誉教授）、横田祐美子（立命館大学）
- ・使用言語：日本語、フランス語（翻訳配布、逐次通訳あり）
- ・主催：日仏哲学会／共催：（公財）日仏会館／協力：東京都立大学、慶應義塾大学【後援】脱構築研究会
- *会場参加、オンライン視聴のいずれも要登録。

- 会場参加用：<https://forms.gle/SRirbVGdnAQ3t3d6>

- Zoom配信視聴用：<https://zoom.us/meeting/register/tJ0scu2qqD0qE9QYyxVbz5aluSRLg4eeI6e0>

本登録にて9/17-18の2日間いつでも会場参加／視聴できます。

セミナー開催中はいかなる録音、録画もお控えください。

プログラム詳細は後日公開→ <https://www.comp.tmu.ac.jp/decon/>

プレイベント「ジャン＝リュック・ナンシーの哲学——共同性、意味、世界」

- ・日時：2022年9月16日（金）17:00～20:00（東京都立大学からZoom配信）
- ・司会：西山雄二、柿並良佑
- ・発表者：安藤歴、小田麟太郎、高山花子、宗政孝希、村山雄紀
- ・主催：脱構築研究会／協力：東京都立大学
- *要登録：https://zoom.us/meeting/register/tJwduygrTsiHNDi_DF5LD9oszBb97I00CeW

★ **会員の皆様へのお知らせとお願い**

1. 会費納入のお願い

今回の秋季大会も引き続き異例の開催形態をとらざるをえませんので、受付で会費を直接納入していただくことができません。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000円)を納入して下さいますよう、改めてお願い申し上げます（末尾に記載の学会郵便振替口座から常時お振込みいただけます）。当学会の会計年度は9月開始となりますので、その点もご承知おき下さい。

（なお、3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、5年間の滞納が確認された方には「会報」の発送を停止させていただいています。）

2. 機関誌電子化について

2021年9月の総会での承認に基づき、機関誌『フランス哲学・思想研究』の電子化の準備を進めてきましたが、来月刊行される27号から電子化が実現します。個別の論文はJ-Stageで、機関誌全体は学会HPで閲覧・ダウンロードできるようにする予定です。初年度でもあり、アップロードが予定より遅れる可能性もありますが、どうぞご了承ください。アップロードできましたら、事務局よりメールとHPでお知らせいたします。

3. メールアドレスご登録のお願い

メールアドレスをご登録いただいている皆様には、「会報」をメール添付でお送りしておりますが、まだ「会報」を郵便でお受け取りいただいている、メール送付に切り替えていただける方は、下記事務局までご一報下さい。

【日仏哲学会事務局】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学研究科 杉村研究室内

e-mail: secretariat@sfjp-web.net

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会